



都城市立富吉小学校

やまほと

自ら学び、豊かな心をもって、たくましく生きる児童の育成

学校便り2月号
文責：校長
2026. 1.29

2月を迎えます。

新年を迎えて1ヶ月がたちました。大寒を過ぎ1年で最も寒い季節を迎えていますが、児童は元気に登校し、日々の学習や行事に取り組んでいます。インフルエンザの感染が少しはありますが、うがい手洗いの励行による予防、暖かい服装、食事による栄養補給などを心がけ、この時期を乗り切っていきたいものです。

いつもと違って調子が悪い時には無理をせず、休んでしっかり回復につとめましょう。

都城大弓（伝統工芸品）の体験学習

1月22日（木）に県そして国の伝統工芸品に指定されている都城大弓の弓師の方2名をお招きして体験学習を行いました。都城大弓は、4年生の社会科で学習する内容です。

弓師は、早鈴町で弓製作所を営んでいらっしゃる楠美蔵吉さんと南崎寿宝さんです。学習では、弓づくりの作業の説明があり、実際に竹を割るところ、竹の曲がりをつくるためのくさび打ちの作業を見学しました。その後児童は、質問に答えてもらい、かんなで竹削りの体験、弓をひく体験に挑戦しました。

実際に作業の様子を見て、実物に触れることで伝統工芸の難しさとその技術の尊さ、すばらしさを感じることができました。（宮崎日日新聞1月24日にも記事が掲載されました。）



都城大弓・・・製造方法は江戸時代初期に確立されたと言われ、200から300を超える工程は、そのほとんどが手作業で、一人前の弓師になるには10年以上の歳月が必要といわれています。平成6年には国の伝統的工芸品に指定され、現在5人の国の伝統工芸士がいらっしゃいます。

心の温度計は何度ですか？

登校してくる児童が、学校そばの池の水が凍っているのを見て騒いでいます。寒いと朝の気温のことが気になりますね。ところで、私たちは、どれだけ人の心の温度について考えたことがあるでしょうか？2月は疲れが出たり、進学・進級への不安を感じたりして、心に余裕がなくなる時期もあります。心に余裕がなくなると、不思議なことに、つい「冷たい言葉（チクチク言葉）」を使ってしまいかれます。

「そんなこともできないの？」「あとでいいでしょ。」こうした言葉は、相手の心の温度計をぐっと下げてしまいます。下げられた側だけでなく、実は言った側の心も冷えて固まってしまうものです。そこで皆さんに意識してほしいのが、

「心の温度計を大切にすること」です。

今は、タブレット端末やSNSなど、指先一つで簡単に言葉を届けられる時代です。顔が見えないからこそ、送信ボタンを押す前の「0.5秒」、あるいは言葉を発する前の「一呼吸」を大切にしてみませんか。「この言葉で、大丈夫かな？」と一瞬想像してみる。それだけで、言葉のトゲは丸くなり、温かい「ふわふわ言葉」に変わります。「ありがとう」「助かったよ」「一緒にやろう」こうした温かい言葉は、相手の心の温度を上げ、全体の空気をもポカポカと温かくしてくれます。

児童の健康について（心配していること）

今年度も残り2か月ほどとなりました。4月当初からの児童の学力はもちろんですが、身体の成長は目に見えてその変化がわかります。どの児童も身長体重ともに健やかに大きくなっています。これまで身体計測、視力検査、内科検診、歯科検診、耳鼻科検診（一部の学年）などを、健康状態の把握や病気の早期発見のために実施してきました。

その都度検査の結果はご家庭にお知らせして対応していただいているが、気になることが2点あります。①視力の急激な低下が見られるお子さんがいること。②歯の治療が必要な方のうち、受診が進んでいないお子さんが半数近くいることです。どちらの内容も学校生活だけでなく日常生活あるいは将来の人生に大きな影響があることです。原因を究明して、対策を立てていくためにも状態が悪くならないうちに、病院受診、治療をお願いいたします。

◆学校行事◆

- 2月2日 命の大切さを考える日
- 3日 クラブ活動（60分）
- 5日 新入学保護者説明会
- 9日 性に関する指導週間
- 12日 きんかんちぎり体験1.2年
- 27日 参観日、学級懇談会
- 3月6日 お別れ遠足、富っ子集会
- 25日 卒業式
- 26日 修了式



【富吉小学校ホームページはこちら】↑